



# 事故発生状況報告書

様式第5号

当事者	甲(加害運転者)	氏名	札幌五郎 (電話) 011-231-5430	
	乙(被害者)	氏名	国保太郎 (電話) 011-231-5161	運転・同乗 歩行・その他
天候	晴・曇・雨・雪・霧	交通状況	混雑・普通・閑散	明暗
			昼間・夜間・明け方・夕方	
道路状況	舗装 { してある / していない }	歩道(両・片) { ある / ない }	直線・カーブ	平坦・坂
	見通し { 良い / 悪い }	積雪・凍結		
信号又は標識	信号 { ある / ない }	駐・停車禁止 { されている / されていない }	その他標識 (一時停止)	
速度	甲車両 30 km/h (制限速度 40 km/h)、乙車両 40 km/h (制限速度 40 km/h)			
事故現場に於ける自動車と被害者との状況を图示して下さい。	事故発生状況略図(道路幅をmで記入して下さい。) 1 最初に相手を発見したのは約 3メートルの位置 2 車(甲、乙)その時私は、わき見・考えごと・標識見落・先に行けると思った・速度が出た・その他( ) 3 歩行者 その時私は、先に渡れると思った・車の接近に全く気がつかなかった・急に飛び出した(左から)・走った・その他( )			
	<div style="float: right; margin-top: 10px;">                     甲 車                       乙 車                       進行方向                       信号                       一時停止                       人間                       自転車 }                       オートバイ }  </div>			
上記図の説明を書いて下さい。	甲は考えごとをしていて、一時停止の標識を見落とし、乙と衝突しました。			

別紙交通事故証明書に補足して上記のとおりご報告申し上げます。

平成 20 年 4 月 22 日

報告者 甲との関係( 本人 ) 札幌五郎  
乙との関係( )

過失相殺を判断するため、一番重要なものです。  
原則として加害者に洩れなく記入をお願いして下さい。  
記入に際しては、警察の実況見分のとき現場で説明した時と同じように記載してもらうことです。  
(損保会社の人の記載は、できるだけ避けて下さい。)